

# 藤沢市総合計画審議会と地域経営戦略100人委員会との合同協議

と き 2009年(平成21年)12月12日(土)  
午後1時～3時  
ところ 湘南台市民センター地下2階体育室

## 次 第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 議事
  - (1) 新総合計画基本構想策定の検討経過について
  - (2) 基本構想第一次素案の基本的な考え方について
  - (3) 基本構想第一次素案の概要について
  - (4) グループ討議
  - (5) 合同協議
  - (6) 総括
- 5 閉会

事務局  
藤沢市経営企画部経営企画課  
電 話 (0466) 50-3502  
ファクス (0466) 50-8402  
e-mail kikaku@city.fujisawa.kanagawa.jp



# Fujisawa vision

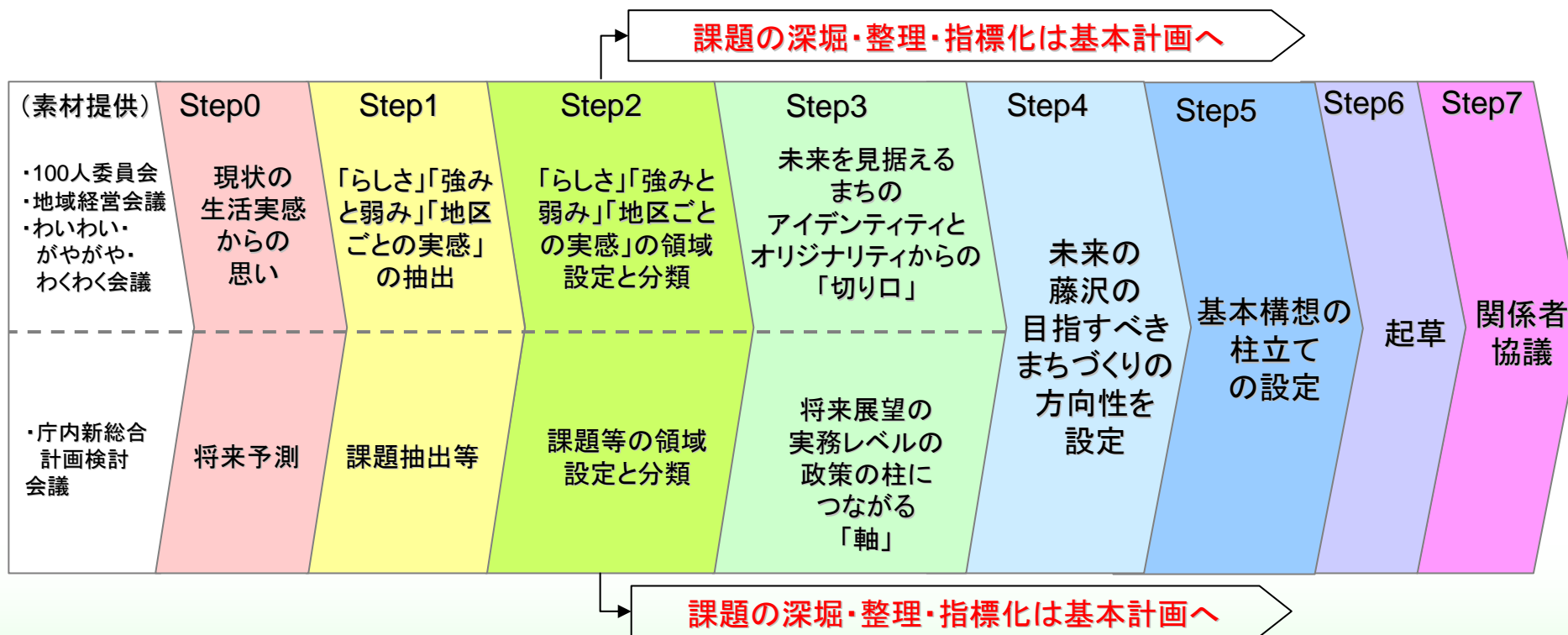
## 新総合計画・基本構想策定の 経過、基本的考え方と概要

2009年(平成21年)12月18日

# 基本構想策定のプロセス

- ▶ 「現状の生活実感からの思いと将来予測」から、起草までをStep0～7の8ステップに区分し、総合計画審議会が幅広く新鮮な素材を集めて、切れ味よく「基本構想案」をまとめた。
- ▶ 地域経営戦略100人委員会などの関係者と協働で構想を磨き上げていく。

## ▶ 基本構想策定のプロセス



# 総合計画審議会での検討経過-①

## 第1回総合計画審議会（2009年8月2日）

- ・ 新たな課題抽出について

## 第2回総合計画審議会（2009年9月13日）

- ・ 課題抽出について
- ・ 課題抽出に伴う論点整理

## 第3回総合計画審議会（2009年10月3日）

- ・ 「起草部会」設置

### ➤ 第1回起草部会（2009年10月3日）

- ・ 新総合計画の位置づけと役割について
- ・ 新総合計画の全体フレームについて



## 総合計画審議会での検討経過-②

➤ 第2回起草部会（2009年11月7日）

- ・基本構想のフレームについて
- ・基本構想の内容について

➤ 第3回起草部会（2009年11月16日）

- ・基本構想第一次素案（部会案）について

### 第4回総合計画審議会（2009年11月23日）

- ・基本構想第一次素案（部会案）について報告・審議

➤ 第4回起草部会（2009年11月23日）

- ・基本構想第一次素案について

### 第5回総合計画審議会（2009年12月12日）

- ・基本構想第一次素案について報告・審議
- ・市議会議員全員協議会の報告



# 新総合計画・基本構想策定に 当たっての基本的考え方



# 1 前提

- 三層構造の会議体を通じて、課題（「藤沢らしさ」「藤沢の強みと弱み」「地域ごとの実感」及び「将来予測に基づく課題抽出」）をもとに基本構想を練り上げる。
- 三層構造の会議体を通じた議論のキーワードは、「私たちの政府」
- 地域経営・市民主体のまちづくりを基本構想で骨太に展開する。

## 2 基本構想の考え方（論点）—①

- 新総合計画は、「行政管理をするための計画」から転換して、「地域経営・市民主体の「藤沢づくり」を推進するための計画」として位置づける。
- 新総合計画を活用する（読む）主体は、地域と市民、行政とする。
- 「何故新総合計画を策定するのか」を明らかにする。
- 新総合計画・基本構想を策定するために利用した情報、現状分析、検討のプロセスを明らかにする。



## 2 基本構想の考え方（論点）―②

- 新総合計画は、藤沢の20年後（2030年）を見据え、10年後の姿を示すビジョンとする。
- 基本構想の理念などを踏まえ、基本計画、実施計画で担保するものの方向性を示す。
- 地域経営100人委員会、地域経営会議などで検討が行われている「生活課題に基づく課題整理と分析」「地域まちづくりの方向性」「目標の達成度を測る指標化」などを基本計画で担保することを明らかにする。
- 生活実感を感じ取れる「藤沢づくり」を明記する。

# 基本構想の概要



# 基本構想の構成（第1章）

## 第1章 私たちがめざす藤沢の未来

### I. 「私たちの政府」宣言

### II. 新総合計画の枠組と基本方向

#### 2-1. 計画のフレームと構成

#### 2-2. 計画策定のプロセス

### III. 基本構想

#### 3-1. 将来像と基本理念

～ 20年後の自律と協働の姿 ～

＜地域経営を進めていくための3つの基本理念＞

#### 3-2. 「地域・市民と行政がめざす20年後の都市 ふじさわの姿」

#### 3-3. 「藤沢づくり」のめざす方向性

～ 20年後の藤沢市をめざして今から始める

「藤沢づくり」～

# 基本構想の構成（第2章・資料編）

## 第2章 まちづくりの沿革と取り巻く状況

### I. まちづくりの沿革と取り巻く状況

#### 1-1. 藤沢市のまちづくりと総合計画の沿革

#### 1-2. 計画策定の背景 ～藤沢を取り巻く状況～

## 資料編 三層構造のプロセスから発意された「藤沢づくり」 の視点と課題

### I. 新たな「藤沢づくり」の視点と課題

#### 1-1. 新たな「藤沢づくり」の視点

#### 1-2. 新たな「藤沢づくり」の課題

# 第1章の概要①

1. 「私たちの政府」とは、藤沢市経営のための、「地域市民」、コミュニティと行政の協働・共創による地域経営を基本とした藤沢市独自の新たな仕組みで、これを築いていくことを宣言している。
2. 「私たちの政府」で進める「藤沢づくり」の基本的考え方は、次の3点。
  - ① 「生活者の実感」で進める「藤沢づくり」
  - ② 「地域力」「市民力」を発揮する「藤沢づくり」
  - ③ 「私たちの政府」による自律と協働の「藤沢づくり」

※ 「地域市民」とは、一般的な「地域住民」とは異なり、地域に住み、働きまたは学びながら地域経営に参画する市民をイメージしている。

※ 「藤沢づくり」とは、これまでの「まちづくり」に代わる言葉で、藤沢市独自の仕組みと取り組みによって藤沢市を作り上げていくという意味がこめられている。

## 第1章の概要一②

3. 将来像は「「私たちの政府」が創る、いまでも未来も住み続けたいまち「湘南ふじさわ」」としている。
4. 地域経営を進めるための基本理念は、次の3点。
  - ① 永続的な市民主体の「藤沢づくり」を実現する。
  - ② 市民と創る「自律するまち」の行政システムを構築する。
  - ③ 協働して都市広域連携を展開する。
5. めざす都市ビジョンは、次の3点。
  - ① 市民の力が育てる生活充実都市「ふじさわ」
  - ② 地域から地球に広がる環境行動都市「ふじさわ」
  - ③ さらなる可能性を追求する創造発信都市「ふじさわ」

# 第1章の概要一③

6. 「藤沢づくり」のめざす方向性は9点。
  - ① 地域自律型の「藤沢づくり」を育む
  - ② 明日の藤沢を担う「藤沢のこどもたち」育む環境づくり
  - ③ 地域力・市民力による安全で安心して暮らせる「藤沢づくり」
  - ④ 共に生き、共に創る地域社会の創出
  - ⑤ 豊かな自然・歴史・文化資産を次世代に継承・創出する「藤沢づくり」
  - ⑥ 地球温暖化防止など地球環境への未来投資を進める「藤沢づくり」
  - ⑦ 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生
  - ⑧ 公共資産の有効活用と社会資本の長寿命化
  - ⑨ 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」を育む

## 第2章の概要

- これまでの本市のまちづくりの経過と現在本市のおかれていまする少子高齢化や産業構造の変化、厳しい財政状況など客観的状況について記載している。
- 第1章を書き起こす基本材料としている。

## 資料編の概要

- 各会議体で話し合われ、新鮮な発見や議論の素材として挙げられたものを基本構想の策定プロセスの中で整理したもの。
- 意見の内容をできるだけ忠実に記載している。



**グループ協議結果記録票**

この記録票は、グループでの意見がまとまった段階で、内容をまとめ役の方が記録係に伝え、記録してください。記録係は、記録した内容を読み上げ、グループの皆さんに確認をしてください。

優先 順位	意見提案の件名	意見提案の内容	改善の提案 (可能であればご提案ください。)	記載されている場所 (ページなど、任意記入)

参加者氏名（まとめ役には○を付けてください。）

## 基本構想 意見提案シート

このシートは、地域経営戦略 100 人委員会の委員が基本構想についての意見提案を行うためのものです。2010 年（平成 22 年）1 月 13 日（水）までにご提出ください。（任意提出）

＜ひとつの意見・提案に対して 1 枚としてください。＞

意見提案の件名

--

意見提案の内容

--

改善の提案（可能であればご提案ください）

--

記載されている章・ページなど（任意）

--

委員氏名

--

提出は、次のいずれかによりお願いします。

- ① 経営企画課にファクス（0466-50-3502）で送信
- ② 経営企画課に郵送又は持参（市役所本館 2 階）  
〒251-8601 藤沢市朝日町 1 番地の 1